都高時報

第八號
昭和27年4月16日発行
発行所
都大附高新聞部
編集責任者　高橋 [illegible]

悲喜こもごも
続々と朗報入る
大學入試決る

昨年の朝鮮動乱に次いで三月二十八日の國立大学を皮切りに始つた本年度の大学入試も終つて、合格の朗報、悲報にやぶれ去つた悲報等、悲喜こもごも新たな学校に新生を送つて来た。國語は数新制を以て今年度大学入学の十日現在の状況をうかがつてみた

今年度の大学入試は戦後の激増混乱より脱しそれに伴つて戦前の様な落ち着きになりつゝある。今年の著しい現象はいわゆる浪人の進出で未曾有の激戦となつた、東大、御茶水、都立大等が七・八倍、工大十二倍、早稲田十五倍等々で一橋大学は予想を裏切つて十七倍もの競争率になつた。我校でもその余波をうけて昨年の入学率は及ばなかつたが、東大二十四名（卒業生共に）の成績を上げた。左は十日迄に判明した合格者氏名である。

東大各校入學者數	
日比谷高校	80名
新宿高校	60
戸山高校	47
小山台高校	47
両国高校	47
小石川高校	34
西高校	32
東大附属高校	23
都立高校	24

4月10日　旺文社調

合格者氏名

【東京大学】（文一）杉浦洋B、高橋伸治B、松下譲C、臼井A、関田靖雄卒、津田卒、野間宏重、（文二）長野泰B、坂下剛C、（理一）岡田信朗A、桜井靖久A、後藤陽C、多羅尾淳一C、山崎弘郎（理二）吉林文子A、鈴木雄一B、桜井正之B、佐野靖彦C、中村秀明C、尾崎卒、前野旭卒（文二）若林卒、清水佐衣郎卒

【東北大学】門倉靖雄卒、堀沢卒、田村卒、松田和光A

【北海道大学】荒村敏雄A

【京都大学】加藤雄和卒

【東京外語大学】仁木卒

【学習院大学】久保田英之B、大野義B

【慶応大学】津田玲子B、深地C

【早稲田大学】松岡弘道A、政治徳卒

なお本校から直接に職場に向われた人々もあり、男子三名は夫々東京銀行、印刷所、證券「野村」の出版所へ女子二名は農林中央金庫、都商局へ就職した。先輩の前途を祈る。

希望を胸に
四月五日入學式

去る四月五日、今度入学した二五〇人の新一年の入学式が行なわれた。校長の話、教務課長と生徒課長、図書課長の各先生から夫々話があつて式を終り、さまざまの希望を胸に抱きながら、入学を祝して例年通りプールのそばで写真をとり、解散した。

新しく本校に入学した一Bの張一君は入学の感想を次のように語つた。

都立高校それは我々が中学生時代からの憧れの的であつた。古き伝統を持ち自他共に優秀高校をもつて任じる都立高校に入れた我々は何と幸福なことであろうか。八雲ケ丘にそびゆる都立高校の校舎にい新鮮味、何一つ我々の憧れをそこなうものはない。大学の予備校的存在の高校の少くない現在都立高校にはそんな点はみじんも感じられない。三年間を小さな目的の為にあくせくするのなら高校生活は少しも楽しいものにならないだろう。その点我が校のふんい気は高校生活を人格の完成を目指して充分楽しもうという線に見受けられる。幸にして入学出来た我々は先輩の築いたよき伝統の下に人格の完成を目指して努力したい。

論説　新入生へ

（1）

一年生の皆さん、君はこの学校に入つて先ず何を感じられたでしようか。みなさん、私達の学校都立高校は確かに良い学園です。そしてその他、他校に見られない良いことは都内屈指の東大入学率の高いことばかりではありません。それよりももつと良いより素晴らしい環境があるのです。

それは都内唯一の明確な自治綱領をもつていることと、またその自治会を支えている自由な雰囲気と明朗の伝統の雰囲気です。どうかこの環境を十分に活用しよりよいものにして下さい。そして、その自由な雰気を吸つてのびのびと学園生活を楽しんで下さい。もちろん学園生活とは勉強だけのものではありません。部生活が大半なのです。部生活の勧誘は始業式の日に各部キャプテンの演説が、くどい程述べたてましたからここには述べません。

（2）

部生活と一緒に、いやそれよりもつと大切なもう一つのことがあります。それはすべてについて考えるということ、批判するということです。なぜなら批判の精神のない所に進歩はありません。私達の学校の自由な雰囲気もこの批判の精神の所産なのです。意見をもたないところ、そういつた所には自由も民主々義も存在出来ません。批判の精神、それは同時に抵抗の精神です。古いおしかぶさつてくる少年時代というバリケードをつきやぶり無批判と盲従をおしつける力に抵抗する精神です。旧制高校から新制高校となつた学校の生徒として旧制高校の良い伝統であつた反抗と批判を自ら身につけて下さい。

（3）

次に社会人としての皆さんにもう一つ。それは社会の動きに敏感をもち、社会進歩のため平和で自由で民主的な環境を作るため闘う人になつて下さい。再軍備が行われ徴兵制度が実施せられそうな、そして言論集会出版結社の自由が十年前のように「法律の許す限りにおいて」になりそうな今、「まだ小さいから」とか「学生は勉強が本分だ」といつたような家庭の殻にこもらずに平和と自由のため闘かいましよう。平和な自由な世界は同時に勉学と生活の最良の条件なのですから。みなさん、私達の先輩が「わだつみのこえ」として、残していつた知性を、それがもう一度書かれない内に自分達のものとして闘いましよう。

平和擁護委員會發足
委員長に小川君

今年に入つてから平和問題を全校的に取り扱つて行こうという機運が、自治委員会を始め、各方面に急速に高まつて来、各クラス各サークルでは、座談会、討議について度々討論がなされて来た。そして旧三B、旧一Bの二クラスを除いたあとのクラスでは平和擁護委員会の必要が叫ばれ、一名づゝの委員を選出し、此れと同時に各校友会でも取り上げ美術、新聞、社研、卓球から委員が選ばれた。そして去る三月七日結成会が開かれ、旧一Aの小川[illegible]一君が委員長に選ばれた。

第一回目の会合（三月十六日）では、組織確立、及び基本的な活動方針が討議された。

副委員長（二B藤井正也、二B細野裕子）会計、渉外、宣伝の各部署が決められ、活動方針として次の事が決定された。

一、壁新聞の発行（月二回）
一、平和講演会の開催
一、各クラス、サークルにおける平和問題討論会
一、平和問題に関する世論調査の実施
一、未選出の各クラス、サークルに委員選出を呼びかける
一、新入生に対して呼びかけの宣伝及びビラを出す

かくして全校的な平和問題に関する唯一の機関として本校独自の平和擁護委員会は確立されたわけであり、活動が期待される。

委員長小川君談　校内の平和問題への無関心を一掃し、平和を守るためにあくまで闘うつもりです。諸君の積極的な協力を望みます。

六百の徴反
署名集る

反戦学生同盟では一月校内で徴兵制反対の署名運動を続けて来たが、春休み中も本校の合格者発表のときに署名をとつたり、近所の家や高校に行くなど運動を続け、現在まで総計六百名以上に達している。

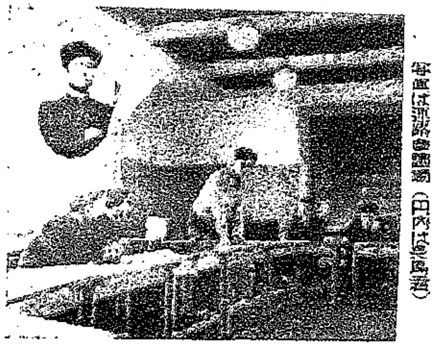
西部地區 高校連絡会議結成
本校仮理事校に

「各学校においてかなり活発な自治活動、クラブ活動が行われているのに、不思議なことに各校の交流が行われていない。そして活動にあたつて吾々は色々な悩みやさまざまな問題につき当つているこの様な問題を議題に持ちより相互の体験の交流により解決して行こうではないか」。という主旨で本校の自治委員会が東京都西部地区（杉並、渋谷、世田谷、目黒）の高等学校に呼びかけて、第一回の協議会が去る三月二十一日に本校講堂において、西、富士、駒場、東京工業、国学（私立）明正、都大附属校、本校等九校の参加を以つて開催された。

会議は本校自治委員長議長の開催宣言の説明と議題説明を以つて始められ、各校の代表者より活動概況や、懸案問題になつている事柄が報告され、活発な討論が交わされた。

生徒の日常生活のこまかな点まで規定した生徒心得、或いは服装心得等による生徒の自主性の束縛封建的圧迫が風紀問題に名をかりてなされている事が訴えられ、交の意義が見失われつゝある事や、そのためにクラブ活動が沈滞している事等が報告され組織問題は次回に討議することに決め閉会した。

第二回目の協議会は四月五日都大附属高校、駒場、西、目黒（私立）本校の五校の参加のもとに開かれ、規約審議と仮理事校の選出が行われた。会議の性格として「各校の諸問題をはかり。共通問題の解決のために、相互の連絡と交流を行う」事を明文化し、正式に東京都西部地区高等学校連絡会議の名称のもとに組織を拡大していくことになつた。仮理事校として、本校、駒場、西の三校が選ばれ理事校には本校が当る事にきまつた。



写真は連絡会議風景（円内は[illegible]君）

新入生歓迎 音楽會開催

来る四月二十七日（日）に新入生を歓迎する催しのアトラクションの一部として都立大学講堂に名ピアニスト[illegible]氏を招いて新聞部・野球部およびバレー部の共同主催によるピアノ演奏会を開催することになつた。演奏は午後一時及び同四時の二回で曲目の一部としてベートーベン作曲による「月光の曲」リスト作曲の「ハンガリア狂詩曲」等が予定されている。

当日の演奏者[illegible]氏は大正十三年東京の生れで東京音楽学校でピアノを専攻されて現在では東京藝術大学の講師であるが昨年の都立大学の記念祭にも大学の招きに応じて都立大学講堂で演奏をされたこともあり都立大学の諸君には馴染みのある日本一流の名ピアニストである。

謝恩會に藝人
卒業生憤激す

去る卒業式の日に謝恩会の問題についての声明が三年の人によつてはり出された。謝恩会の事件というのは関係者の話を総合すると大体次の通りである。

同日卒業式終了後講堂で卒業生同父兄等約二百名によつて謝恩会が開かれた。校長及び来賓の祝辞の後茶話の時間あり、約二十分の休憩の後今度は浅草の某劇団が来て四人で落語、漫才、奇術、日本舞踊、歌謡曲をやつた。しかし芸人が演技をはじめたころから相当数の卒業生父兄が退場し、百名位しか残らないような状態となつた。これら芸人を呼ぶことについては謝恩会の委員と某教師との間に於て話のみで決定され、謝礼金は謝恩会からは交通費位しか出ていない。また同校校長室では慰労会が行われ先生たちは相当量の酒を飲んだという。

この謝恩会について数名の方は次のように語つた。

◇某先生談　私は謝恩会の空気が非常に嫌でしたので途中で帰りました。あのような事態を起した原因として謝恩会の無計画性が上げられると思います。意義ある会なのだからより計画性をもたせるべきだつたと感じています。往々、事件のショックを忘れるころに再び同じ誤りを繰り返すから、その時こそ深く反省すべきだと思います。

◇謝恩会実行委員長談　僕は、あれで結構楽しんでいたのだし、内容もそれ程ひどくはなかつたのだから問題にすることもなかろう。劇団の謝礼金は学校から出るのでなかつたから呼んだ。

◇卒業生深見さん談　どうも謝恩会の概念と縁遠く、浅草辺の寄席にいつたようだつた。休憩の時に出てしまつたのですが良かつたと感つている。

これを機にこれまで都立にあつた悪弊を一掃する必要があるのではないか。

◇某先生談　謝恩会の空気にしても慰労会の時の空気にしても非常にいやだつたのですぐ帰りました。川上君の事件もあつた後だし、学校で先生たちが飲むということはやはりよくないことだと思います。

再度抗議文
吉永先生に

昨年度幾何の授業のテスト式がよいかどうかで問題となつたが、去る三月二十二日再試験の行なわれた際、八名の生徒が教室で吉永先生に直接抗議を行うと共に抗議文を手渡した。今度の抗議の主要な点は次のようなものである。

一、テスト式の授業は一年間経験して、これでは一般の能力がついたとは考えられない。
一、出来る者と出来ない者との差がますます甚しくなり、先生はこのような人達に対して実力を上げる手段を講じなかつた。

以上のような生徒の質問に対する先生の返答の要点は

一、この一年間の幾何の授業は個人教授という新しいやり方である。
一、生徒を縛りつけたというが幾何を勉強するように仕向けるために何ら不当なことではない。
一、この教育方法について生徒に批判してもらいたくない。

フ・エ・ナ

▽学生だからといつて社会の現実にきびしく眼を向けることを回避している者が吾々学生の中にもかなりいるし世間の大人達は学生が平和運動をやつてさえも政治運動云々で非難の眼を向けている。

▽また吾々が平和を望むようにただ個人々々が平和を願つていれば避戦できると考えている者がかなりいる。平和の危機が叫ばれている時、そこには何者かが戦争を企んでいるのであり、社会的混乱の中に戦争の危機が潜んでいるのである。

▽吾々一人々々の力は非常に弱いものであるが団結すれば何事をも出来る大きな力となることは誰でも知つている。吾々の平和運動が願つている広汎な人々を結合して強力な団結を以つて戦争勢力にぶつかつて行く以外に平和を守り通す道はない。▽戦争屋の方はあらゆる国家権力を行使し、あらゆる公共機関を手中に収めてたえず戦争を正当化しようと企む。吾々は、このような権力を破壊する以外に道はないのである。

東京海上火災保険株式會社
高橋代理店
高橋方義
渋谷営業所　東京都渋谷区上通四丁目五番地　電話 渋谷(46)二七七六・二四四〇番
自宅　東京都世田谷区三軒茶屋町一〇四ノ一番地　電話 世田谷(42)四〇九七番

關係會社
日本火災海上保険株式會社
安田火災海上保険株式會社
大正海上火災保険株式會社
同和火災海上保険株式會社
日産火災海上保険株式會社
日動火災海上保険株式會社
共榮火災海上保険相互會社
大東京火災海上保険株式會社
A・I・N總代理店

新學期の参考書は
是非當店で
新刊図書雑誌
八雲堂書店
都立高校驛前
電(08)二三三九

厚生會

入学、進学おめでとう！重責と抱負に燃えていることと思う。扨て、都立大学厚生会では本年度も又、諸君の勉学に必要な学用品を取りそろえて、御奉仕する次第です。是非御利用の程を！会員は、一～二割安！

【書籍部】学術書を始めとして本年度は、資本金の拡張を待つて飛躍的に取りそろえる予定です。五分—一割五分安。御注文の書籍は引受けたまわります。

【購売部】（ ）内は、定価、文房用品
ポマード（ケンシ・八香・ヒメ粉）八〇円（一〇〇）他
サンスター 五五・（六〇）
大学ノート（都大マーク）三五・（五〇）
小版ノート 五〇（八〇）　ルーズリーフ 三〇
レポート用紙 一五　鉛筆 一〇
ワラ半紙一〇枚 八円（一〇）
鉛筆 九円（一〇）
運動靴 三〇〇（四〇〇）
革パスケース 四三〇（五〇〇）
雑貨類、とにかく御来店を。

【食堂部】
パン（ジャム・バター） 一五　都大やき 二〇
ミルク 一五　ぜんざい 二〇
カレーライス 四〇　カレー汁 二五

【プリント部】新聞・教科などの印刷は低価格、プリント部室迄！

【理髪】店内　調髪55　丸刈45　顔剃35
万年筆　火木土　[illegible]　月水金　出張

—東京都立大学々生自治会厚生会—

新入生に期待

活潑化する部活動

校友會訪問

新学期を迎え各部とも一斉に活動を開始した。昨年度の沈滞を破り如何なる動きを示すか、まず新一年の加入が期待されるわけだが記者は始業式そうそう各部を訪問し、今学期における抱負をきいてみた。

生物研究會

昨年度に引続いて遺伝、心理、発生、生理の研究を行うと同時に遠征などを交へた、動植物採集並びに標本製作の他にウニを利用しての実験、講師を招いての講演会と多彩な今期の計画を実施。部を訪問した日、部員にひれきして現れたが、どうやら新部員獲得におおわらはの態である。まあせいぜい多数の部員を獲得して熱心な研究をして欲しい次第だ。

音樂研究會

ヴァイオリンの旋律が流れ出る音楽室にこの部を訪問し、沼田班長に「今年度の抱負はどうですか」と聞くと、早速「器楽部を設置しました」と誇らし気である。記者が我学園の校友会であるから「器楽偏向に[illegible]」と述べておいた。又一方、今年も器楽練習をみつちりやるそうで、記念祭にはコーラス、オーケストラと大きな計画があるそうだが、記者が見た所四十名部員がいるそうなのに寂しい出席者に一驚した。

社會科學研究會

先年は研究会禁止で校内の一焦点をあびたが、今期は如何にと思い乍ら駆けながら同会を訪問した。まず部員一同から平和に就いての議論をさかんに聞かされ記者もその迫力と平和の重要性をほとほと痛感した次第だ。目下班長に今年度の計画を聞くと一週一回の研究会を主として、平和擁護活動と共に哲学的方面の研究もやって見たいと語っていた。

> **天文部員募集**
> 春休み天文台へ

機械科學研究會

鉄道研究会と云った方が適当だとの一部の風評だが、一部員は鉄道、自動車、飛行機、船舶と今期は大々的に研究して行くと鼻息荒く、又千葉や房総区の見学も計画しているそうだ。チームワークはなかなかよさそうだし、計画倒れにならぬよう今期の奮闘を祈って止まない。

美術研究會

昨年度の花形である美研を四番目に訪問する。今月中旬の複製展の準備で忙しい小川班長を捉へて聞いて見る。「まず一年を多数入部させる事が先決で、春秋各期の展覧会、鑑賞会は勿論、毎週土曜のデッサン会や写生旅行の催しに絶好地として校内美化に努力したい」と得々聞かされた。天国の花園とまでは云わないが、美研の努力で校内美化に一役新を期待しつつ記者は辞去した。

卓球部　合宿により團結

萌え出る若葉と共にスポーツ・シーズンがこの丘の上にもやって来た。そこで各部の動向をお伝えしよう。

一、二年を主力として昨年盛んな活動を示した卓球部は三年の卒業もひびかず今年は大いに張り切つている。春休には三月二十三日より四月六日まで午前中烈しい練習を行いコンディションも相当よいらしい。新入部員は三、四名で十二日（土）には第三年対第二年の試合が行われた。

昨年の入部わずか二、三名の水泳部は、三年の卒業が手痛く相当弱体化したが今年七名の新部員を加えて再建の意気にもえている。なお練習は五月中旬より初める予定。

昨年大勢入部をみた蹴球部は今年も九名という新部員を加えてますます意気盛んである。春休にはチームワークの向上を目指して三月二十六日より三十一日まで合宿練習を行つた。五月上旬には[illegible]大会に出場するそうである。

テニス部も去つた部員数になげき一昨年の黄金時代と比較して一抹のさびしさが感じられる。新三年が中心となつて四月中旬より練習を開始するそうである。健闘を望む。

昨年再出発して好調なバレー部は三月七日より十四日まで練習を行いチームワークもよく[illegible]が向上したようである。今年都立で好成績を期待される部である。

> **部員募集**
> 新聞部

昨年とメンバーを一新した野球部はシーズンを迎えて春休に練習を開始し一ケ月猛練習を行つた。部員小数のため部員の殆んど全部が硬球に不なれであつたが、三週間後にはきびきびしたプレーがみられた。量より質のがつちりまとまつた部を目指して基礎練習にはげんでいるので今後の活動が期待される。特に新入部員が望まれる。

部員が殆んど新二年なので籠球部はもつとも若々しい気分があふれている。三月十七日より二十六日まで練習を行い個人技術の向上が見られた。[illegible]大会に出場予定

ヒルのいる井戸水

鎌有セツルメントを訪れて

記者は、かねて噂に聞いていた鎌有セツルメントを旧一Cの有志と三月末訪づれてみた。

ここでは東大生が主体となつて貧民窟的な生活を営んでいる人々の診療所、子供会を行つている。住人は、許可者で職を持つているものは殆んどなく、その日暮しの日雇か失業者であり、生活もまつたく入らぬ不衛生な陋屋で、生活に欠くことの出来ない飲料水はすぐ近くの瓦斯工場まで水道が引いてあるにもかかわらず濁つたヒルや細菌が入つている井戸水で、子供達は勿論、学校にはいかされず臭気を発する泥沼でアバレまわつていた。住人の一人は「私達、毎日々々の生活が戦争以上の苦労です」と語つていた。

見学した有志の一人、二Aの中田君はその感想を次の様に寄せてきた。

ヒルの出る水を飲みながら生活している部落を見逃すことが出来ない。このような中で子供達と一緒に遊つたり踊つたりしている献身的なセツルの人々に頭が下つた。政府の社会保障制度というものが如何に名目だけに終つているか目前にみた様だつた。これについては甘数%の国家費と共に私達が研究せねばならぬことだと思う。

本校に図書を寄附

昨年末結核療養所で休学されていた、三年C組の太田昌学君が脳の腫瘍で国立東京病院で療養中のところ、二月十四日、容態急変して死去された。同君の父、[illegible]保険会社社長太田清蔵氏はその同君生前の蔵書の一部と、本年生徒で将来有望なものの為に奨学資金を寄附したいと校長に申出られた。

なおその具体的方法は未定であるが寄附された図書は「太田昌学文庫」として保存する筈である。

この図書中の主なもの

▼河出書房社版「世界の歴史」

▼岩波文庫（九十九冊）

▼戦争と平和、旅と路

愛讀を乞う

編集後記

新聞部では今迄ガリ版の新聞を月刊で発行して来たが、この四月から活版印刷で発行することにした。今後に劣らず読者の御協力をお願いする。他の高校の新聞を見てもわかるように、一般に新聞部にはかなりの予算が与えられているので思い切つた新聞が出せるのだが、都立では昨年、八五〇〇という話にならない予算だつたので昨年はずいぶん苦労した。

校外短針

平和意識高まる

二月二十八日小石川高校わだつみ会主催による〃徴兵制度を私はこう思う〃という懇談会が開かれた。こゝは先日行われた毎日調査で、徴兵反対九七％の数字がでた所だけあつて一般生徒の関心も強く四十名以上の人々が参加、教師も二人出席し活潑な討論がたたかわされ、署名運動を早く行うべきだという意見が圧倒的だつた。（わだつみ新聞より）

授業料一万五千圓

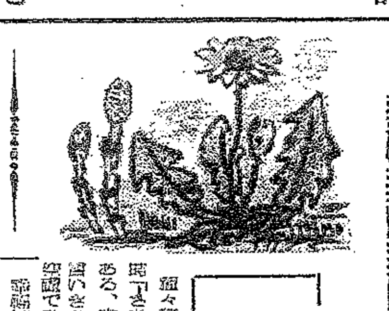
東京学園高等学校では二七年度より新入生に対し授業料一万五千円と決定した。高校一万五千円は全国最高であり我々プロレタリアの及ばぬ所である。（東高新聞より）

エンマ帳に〃脱〃記號

現在出席記号が「欠」「出」だけと思つたらとんでもない。都内某高校のY先生のエンマ帳には先日から「脱」記号が現れ、授業中脱出常習犯をちぢみ上らせている。

徴兵反對の答辞

新宿高校では卒業式の当日卒業生代表が答辞を朗読したが、今までのありきたりの答辞とちがつて「特に再軍備徴兵の声があふれ」「平和意識がふみにじられて」戦争への道を歩みつゝある祖国の現状についてのべた後「独立と平和を守るものは若い青年であります」とうつたえると満場の拍手がしばしなり止まなかつた。（新宿新聞より）



ことば

学ぶことは
心に希望を
抱くこと
教えとは
誠を胸に
刻むこと

（ストラスブール大学の歌）

幸福について

二年　松下　治子

長々努力を積んで絶頂に達した時「さあもうこれで自分は満足である、幸福なんだ」と自分自身に言いきかせた所でその心はやはり空虚であろう。

幸福は一瞬である。私がこうやつてペンを走らせている。こんな小さなことだつて幸福といわれるものかもしれない。幸福といわれるべき条件は多々ある。健康である事それも勿論ではあるが、何時でも自覚する事はおそらく出来ないだろう。病者から見れば多大な幸福たり得るだろうに、自分の希望が達せられた時、しかし私は達せられた時が総ての幸福ではなく目的に向つて全心全霊を打ち込んで行かれる事こそ、その目的が如何に小さい事であろうとも一生懸命にやる事が出来ることこそ幸福であろうと考える。[illegible]うれしい、重荷がおりた様にさつぱりはするだろうががつかりもする。が完成出来ない大事業がある。それは私の人間生活である。真剣な一人旅である。私達はその辿りつきる事のない山の登山口にある小さな窓からのかすかな光線の範囲にある物だけを見て、幸福の青い鳥を探しに出かけたチルチルとミチルはついにとらえることが出来ずに最後に何を知り得たであろうか？

またブッセの「山の彼方の空遠く幸住むと人のいう云々」の詩にあるように、幸福なんていうものは見付け出す事の出来ないものらしい。本当の幸福の正体なんて誰も云い表す事の出来ないものであろう。しかし敏かな私は幸福という物をつかもうとあせる。

かといつて幸福はたつた一つしかないというものでもなかろう。何処にでも沢山転がつているもので、多くの人々はそれを踏みつけてただ無暗に「幸福々々」と叫んで探し求め、自分のすぐ近くに浮いている幸福という気体に気が付かないのである。だから幸福はいくら呼吸しても満足もなくはつきり認識する事も出来ない。そしてその気体は体内で種々に働きかけてくれるけれど分らない。あたかも空気の様に。努力をしてやつと取り出して見た所で、それはすつかり形や色を変にして私達の目にふれる。やがて風に扉が開かれ、おぼつかない一歩を踏み出す。

前に進む人の足跡をよく見て真すぐな正しい足跡の中に私達の足跡を合わせ、肉体は亡びても永久に消える事のないしつかりした深いく跡を後輩土台となるのだ。

私達は近くせまつた新しい出発に対して唯その一瞬々々を永久になつて進もう。個個の幸福を追らおい払わぬ様に。

映畫評

短篇小説的な感じ

「パリの空の下、セーヌは流れる」

戦前数々の名作を発表して、吾国映画ファンにもなじみの深い、巨匠ジュリアン・デュヴィヴィエの戦後の新作。製作は一九五一年であるから、画面に現れるのは、大戦後のパリである。

キャストは全て新人で、「諸々の主題」で紹介された、ヤリ・テレーズ、他にドーニーズ・ランベール、性格俳優として有名な、ジャン・ブロシャール等が演じている。

物語は七人の全く別々の人物が、工場ストライキ、医師試験、殺人事件等によつて、運命の糸にひきずられ、時の流れに巻込まれて行く過程を、彼一流のエピソード形式でまとめているものである。

この映画を見終つた際感じる事は、恐らく、我々がパリという街によつて感じる、あの花やかさがここに於て完全に踏みにじられていることであろう。この映画はフランソワ・ペリエの解説によつて、美しいパリの風景を背景にして、進行する。しかしここには、天井桟敷の人々に於ける、カルネの良い意味での甘さ、花やかさがない。しかしその底には、[illegible]あるもの、即ち彼のペシミズムが鮮しく流れているのである。

「諸々の主題」に於て、我々を失望させた・デュヴィヴィエが、ここに於ては、戦前と違つた形で現れている。彼はこの作品で、立直つたと言われているが、それよりもむしろ、彼の過去の遺産の上に立脚した、再出発と言い得るかも知れない。

他に興味のあることは、エッフェル塔を中心にパリの美しさが、ニコラス・エイによつて撮し取られている事、及び主題となる、二つのシャンソンである。特にシャンソンは、パリの住人のパリに対する愛着をしみじみと感じさせる。とまれこの作品は大作ではなく、むしろあのチェホフに於ける、淡々とした味を有する、短篇小説的な面白さを持つたものであると、言えるのではなかろうか。

（鏑首三C細井論）

校内 RADIO 放研

放研の懸案であつたスピーカーも春休み中に各クラスにとりつけられ、いよいよ今期より月・水・金の昼休みを利用して放送が開始されることとなつた。

次にプログラムを掲げる。

月曜日　12・05　連絡　12・10　先週の校内の動きと今週の予定ニュース　12・25　放送（諸家の共話を聞む）　12・30　各校友会放送、12・40　軽音楽的なレコード

水曜日　12・10　連絡12・15　自治会ニュース　12・25一般　放送ークイズ・放送劇・座談会インタービュー

金曜日　12・05　連絡　12・10　教養番組ー文化放送的の専門的知識の啓発、各課担当教師の談話、12・20　クラシックを主としてレコード音楽。

註　連絡というのは呼出し等のことで、その際には所定の用紙が放研室にありますからそれを使用して下さい。

時計・メガネ・カメラ・DPE
評判堂時計店
第一師範驛前

古本高價買入
都立書房
都大坂下

近代的設備をほこる
理髪店
大東京
祐天寺下車スグ

相場より値よく買ふ
相場より安く賣る甘露へ
文庫は相当数揃えてあります
目黒區上目黒五ノ二三六〇
祐天寺驛前へ
甘露書房
（ハガキ一枚で参上致します）

いつもスバラシイ味、艶、量の
玉家のパン
都立大坂下玉家製パン所

一般醫藥品、工業藥品
度量衡器、計量器販賣
有限會社
中村藥局
都立高校驛前西口大通
電話(08)三八二五四

陽春の候、喫茶・御菓子の御用命は
是非つくし屋へ
おいしい喫茶の
つくし
都大前通り

紙と文房具の御用は
津國屋商店
都大前通り

陽春シーズンを飾る
プラジュール
上映中・ヨーロッパの何処かで
彼女は2才半です
22—28 [illegible] 明日では遅すぎる
29—5／5 銀の靴
世紀の女王（29—2）
恐怖物語（3—5）
学割　80圓
映畫は最高の第一師範
ユニオン座へ

良い映畫は自由ケ丘
武藏野館で
4月15日より21日迄　南部の歌　明日では遅すぎる
豪華二本立
22日より28日迄　砂丘の敵　ジョンウエインの暗黒の命令
電(08)895
自由ケ丘武藏野館

15~21　運命の饗宴　ママは大學一年生
22~28　砂丘の敵　暗黒の命令
29~5・5　銀の靴　永遠のアンバー
エビス
本庄映画館
電(46)4151